

西方小だより



令和3年8月31日(火) 5号 文責 校長 西岡 宏

緊急事態宣言下で2学期スタート

27日(金)に緊急事態宣言が出され、28日(土)の奉仕作業と体験活動を中止しましたが、30日(月)の始業式は感染に配慮しながら予定通り行いました。子どもたちの元気な顔を見ることができて安心しました。

デルタ株は子どもにも広く感染する力を持っているため、親から子どもだけでなく、子どもから親への感染も心配されるところです。当面、9月12日までの緊急事態宣言ですが、今後の状況によっては期間が延長されることも考えられます。12歳以上へのワクチン接種券が配付され、希望者が接種できることはいくぶん安心材料ではありますが、まだまだ油断はできません。

学校では、「子どもたちの学びの保証」と「ご家族の安心」を心に銘じ、これまで以上に感染予防に努めます。また、感染予防のため、学校行事を変更することがありますが、何とぞご理解下さい。

ともあれ、2学期にお子さん一人一人の成長が感じられ、実りの秋となるように職員一同がんばりますので引き続きよろしくお願いいたします。



さらに「がまん強く・たくましい子に」

「漢字や計算で100点をとろうで。」「50m走で次は9秒が切れるで。」「体力テストでA級がとれそうなのでがんばれよ。」などと励ますと「無理です。」「できません。」「えー。」という答えが返ってきます。1学期いろいろなところで耳にしました。夏休みに行ったサマースクールの水泳でも、「クロールで50m40秒を目指せ!」という「無理です。」「えー。」という反応。励まして言っている方は、できるできないより「やってみます。」「もう少しがんばってみます。」を期待しているのですが残念ながらそういう受け答えを聞くことはありませんでした。本人は冷静に自分の力を知っていて謙虚にそう言っているのかもしれませんが。またはご時世、一生懸命することを口にするのが恥ずかしいことのように思うのでしょうか。はたまた、「無理」「できない」が口癖のようにになっているのかもしれませんが。何にせよ、期待して励まし指導している方としては拍子抜けです。

論語に「性、相い近し。習えば、相い遠し。」(陽貨篇)という言葉があります。「生まれつきは似通っているが、しつけや習慣、教養でへだたる。」という意味で、「努力するかしないかで自分の人生が変わるのだったら、一つがんばってみたいものだ。」と解説されています。

西方小学校の子どもたちにも「努力してがんばる。」「よし、やってやろう。」と言える、そんな前向きな気持ちを表すたくまさがほしいと思います。2学期の運動会に陸上運動記録会、学芸会などの行事ではもちろん、ふだんの授業でも「やってみよう。」「がんばります。」の気持ちが表れ、最後までやりぬく2学期にしたいと思います。



5日間のサマースクールで泳ぎも上達しました。

東京五輪から

1年延期された2020東京オリンピックが8月8日に終わり、続いて8月24日からパラリンピックが始まっています。

いろいろなことで話題を提供し、物議を醸したオリンピックでした。日本が過去最多の58個のメダルを獲得しました。地元開催の有利さも多分にあったかと思いますが、1年間の延期、さらに開催されるかどうか分からない状況の中で、選手はどんな思いでこの日まで過ごしてきたかを思うと入賞した選手に対してはもちろん、入賞を逃した選手に対しても大いに称賛したいと思います。

特に入賞した選手のインタビューに「開催して下さった関係者に感謝したい。」「自分だけではこの賞は取れなかった。支えてくれた多くの人に感謝したい。」「最後まであきらめずにやってきてよかった。」など、胸を打つものがたくさんありました。

また、今回新競技のスケートボードでは10代の選手のメダル獲得が相次ぎ、大きな話題となりました。そのこともさることながら、スケートボードの各種目では、出場した選手の国が異なっても、技をうまく決めると一緒に喜び、失敗すると駆け寄って慰める姿を見せてくれました。さらに、柔道や空手の選手は「礼に始まり礼に終わる」ごとく、試合の前後にきちんと礼をしている姿が印象的でした。

あくまで個人的な感想ですが、今回のオリンピックでは勝敗よりむしろ、スポーツ本来の姿、スポーツの意義を強く印象づけられたように感じます。スポーツを通して子どもたちに大きな夢を持たせるとともに、大切なものを伝えていく必要を感じました。

8月・9月の行事予定

- 8月
30日(月) 第2学期始業式・給食開始
発育測定・PTA交通査察
- 9月
1日(水) **学び愛タイム(中止)**
避難訓練
2日(木) 視力検査
6日(月) 児童集会
7日(火) **5年生宿泊研修(延期)**
8日(水) **5年生宿泊研修(延期)**
9日(木) SC来校
10日(金) 計算にチャレンジ
15日(水) PTA交通査察
クラブ活動
学校集金振替日
16日(木) 体育公開授業(1・2年)
17日(金) 漢字にチャレンジ
職員一斉退庁日
20日(月) **敬老の日**
21日(火) 秋の交通安全県民運動
(~30日)
22日(水) 委員会活動・職員会議
23日(木) **秋分の日**
24日(金) 計算にチャレンジ
27日(月) 児童集会
28日(火) 保健室実習
29日(水) 保健室実習
運動会予行・クラブ活動
30日(木) PTA交通査察

～一中学校区で「あいさつ」を重点的に取り組みます～

7月16日に新見第一中学校区連絡会がありました。

この会は、新見第一中学校校区の中学校長、小学校長、こども園長、保育所長が集まり、就学前から中学校までの教育の連携を図り、系統的な指導につなげることを目的に開いています。

今回の会で、一中学区の全校園で「あいさつ」を重点的に取り上げ、教職員も含めて、大人も子どもも、「その場にふさわしいあいさつができるようになる。」に取り組むことを決めました。「おはようございます。」「さようなら。」「ありがとうございます。」「お世話になります。」「おかげさまで。」など、子どもに言うだけでなく、大人が率先してその場にふさわしいあいさつを見せ、それを子どもたちに教えていくことを啓発していこうというものです。

ことわざや格言にも「雀百まで踊り忘れず。」「門前の小僧習わぬ経を読む。」「孟母3遷す。」など、家庭の環境の大切さや親の子どもに対する姿勢を示したものがたくさんあります。こども園、保育所、小学校、中学校、職場で…いろいろな場で気持ちのよいあいさつが交わされるようにし、子どもにとってよい習慣となるようにしたいと思います。

緊急事態宣言のため9月の「学び愛」は中止し、「宿泊研修(5年生)」は10月に延期します。